議 事 録

会議の名称	岩倉市障害者計画推進委員会（令和4年度第1回）
開催日時	令和4年11月28日午後2時から午後3時45分まで
開催場所	岩倉市生涯学習センター会議室2・3
出席者	大藪委員長、水越委員、石黒委員、関戸委員、小倉委員、寺澤委員、浜田委員、井上委員、柴田委員、安江委員、山中委員（欠席：犬飼委員、伊藤委員（憲）、伊藤（悟）委員、田代委員）
会議の議題	(1) 岩倉市障がい者計画（第6期）、岩倉市障がい福祉計画（第7期）及び障がい児福祉計画（第3期）の策定について (2) 岩倉市障がい者福祉に関する計画策定のためのアンケート調査について
議事録の作成方法	☒ 要点筆記 ☐ 全文記録 ☐ その他
記載内容の確認方法	☒ 会議の委員長の確認を得ている ☐ 出席した委員全員の確認を得ている ☐ その他（書面収集した意見書をまとめている）
会議に提出された資料の名称	（資料1）岩倉市障がい者計画（第6期）、岩倉市障がい福祉計画（第7期）及び障がい児福祉計画（第3期）の策定について （資料2）次期岩倉市障がい者計画期間中の国・県における障がい者計画等の比較表 （資料3）岩倉市障がい者計画（第5期）の概要 （資料4）岩倉市障がい者福祉に関する計画策定のためのアンケート調査について （資料5）アンケート調査項目比較表（前回調査（平成28年度）と障がい者用調査票） （資料6）岩倉市障がい者福祉に関する計画策定のためのアンケート調査票（案）（障がい者） （資料7）アンケート調査項目比較表（障がい者用と障害児用） （資料8）岩倉市障がい者福祉に関する計画策定のためのアンケート調査票（案）（障がい児）
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

委員長：岩倉市障がい者計画推進委員会については、今回が次期計画の策定に向けての第1回となる。岩倉市障がい者計画等の策定については、PDCAサイクルにより進めていくこととなり、計画の策定、実行、評価、改善する流れとなっている。今回の委員会では次期計画策定に向けたアンケート調査票の審議を行うが、今後はアンケートの結果を踏まえて現計画の評価をし、次期計画につなげていくこととなる。

2 議題

(1) 岩倉市障がい者計画（第6期）、岩倉市障がい福祉計画（第7期）及び障がい児福祉計画（第3期）の策定について

※事務局より資料に基づき説明。

委員長：障がい者用のアンケート調査票について説明があった。資料4の内容について議論していただきたい。特に大きい変更は3障がいに係る調査票の統合や対象者全員に対して調査票にルビを付ける部分であると考え。

委員：対象者で身体障がい者の中に全盲である人はいるか。調査票について点字や音声の対応はあるのか。

事務局：現状対応できていない。支援者により支援していただきながら回答してもらうことを想定している。案内にその旨を記載する。

委員長：その点での問い合わせなどはあったか。

事務局：前回も特になかった。

委員：精神障がいの手帳所持者と自立支援給付を受けている人の動向の違いはどう把握するのか。

事務局：精神通院医療のみを受給している人は今回対象としていない。対象数が多くなることや経年比較という点で対象としなかった。

委員：精神通院医療受給者の数は非常に多いと思う。現状の対象者で精神障がい者の動向が把握できるのか。

事務局：診断が出ているすべての人の意見を把握するための調査とは考えていない。細かく聞こうとするとそこまで広げる必要はあるかと思うが、今回は手帳所持者で実施しようと思う。

委員長：こちらの調査は手帳を持っている人のニーズ調査となっている。医療としての調査は別の機会としてもよいと思う。

委員長：調査票の設問案について、問1から問24についてはどうか。問2について、今回は性別を聞かないとした。これは分析の上で男女の差はないという仮説を立たすことか。

事務局：前回のアンケート結果では、回答者の性別の割合のみ出しており、男女の特徴

での分析がないため、不要と判断し、削除との案を出した。しかし、ヘルパーにおける同性介護の問題などもあるため、性別については必要があれば入れる。

委員長：何も考えずに入れがちだが、個人的にはなくてもよいと思う。

委員：問の12について、障害区分の認定の有無というのは前回の調査票には入っていて、今回ないというのは理解できない。

事務局：設問数が多ければ多いほど回答率が下がり、極力減らしたいというところがある。その中で前回は障害福祉サービスを受けるための障害支援区分は聞いているが、計画策定の際に反映させられるような結果は出ていないため、あえて聞かなくともいいのではということである。また、障害支援区分については市が認定しているもののため、市でデータを参照できるということもある。

委員長：前回との比較だと参考資料と比較を行う。資料6については削除予定のものも記載されているため、その削除の是非について意見をいただくということである。事務局案の削除案としては妥当と思うが、どうか。また、設問として、回答の選択肢の内容も含めて審議したい。問24までの部分でどうか。

委員：問4で選ぶときに1番1級、2番2級というところで、どこに○を付けて良いかわからない部分がある。問14は特に混乱しそうな気がする。□でチェックマークに変えるとかでどうか。

委員長：回答の形式としてどうか。問4で障がいの種類に○をつけて、その後等級に○を付けるということで、回答の番号をわざわざつけなくともいいのではと思った。

委員長：問25から43まででどうか。

委員：問26について、診療において患者の声を聞くと、選択肢1でも分かるかもしれないが、通院手段の確保を困っている人の声がある。通院手段について頼む人がいないとか、そういった項目が必要ではないか。

委員長：問30の選択肢で就労継続支援A型B型と職業の訓練では、回答者は違いが分かるのか。職業の訓練というところだと、ハローワークなどを想定しているのか。

事務局：分かりづらいというところで、例えばという部分で括弧書きとして例示を追加させていただければと思う。

委員長：問44から問54まででどうか。問44や45は選択肢に関する意見があればお聞きできればと思う。問49について、小学校区の住みやすさということで、もっと前の設問で小学校区を聞くことがあってもよい。

委員長：55から66番まででどうか。特に虐待や差別解消に関することが中心となっている。質問項目として逆に答えづらいというようなところもあるが、重要なところだと思う。

委員：問64について、障害児通所支援も聞いているが、障がい者向けのサービスだけで良いのでは。

事務局：過去から利用していたところの把握という点で載せているが、検討する。

委員：障害児通所サービスの件は、アンケートには載せておいたほうが良いと考える。

問49について、地域の住みやすさについての項目であるが、小学校区毎では想像しにくい部分があると思う。もう少し地域を細分化して聞いてもよいのではないか。

委員長：お住まいの地域を明らかにした方が良いということである。

事務局：検討する。

委員長：障がい児用の調査票についてはどうか。虐待に関する項目について、資料8の19ページであるが、主に親が答えると思う。親に対して自身の虐待の有無についてやその内容について尋ねるのはどうかと思う。そうならないようにという点で相談先に関してや、手をあげることの有無や、育児の放棄をしそうになったかところで繋げていくと良いのかと思う。こうした部分は修正が必要でないかと思う。

委員：基本的なところで、障がい児は18歳未満である。16歳以上であれば設問に答えられると思うが、どうなのか。回答者の選択肢に本人がないというところは気になった。

委員長：本人を追加すると、アンケートの内容が変わると思う。

委員：本人はなくとも良いと思う。

事務局：保護者へのアンケートという内容なので、本人は載せないようにする。

委員：子どもの意見を聞きながらと書いてあるので、今のままで良いのではないか。

委員：本人と相談しながら書くことになると思うので、良いと思う。

委員長：設問については6ページから介助者について。7ページには収入や住宅について。問28で医療の面に関する困り事を聞く項目については交通手段についても入れて良いと思う。10ページから日中活動に関すること。12ページからこれからの生活について。子供の意思をどう確認するかという点もある。13ページから外出について。15ページからコミュニケーション活動についてとある。17ページは小学校区で、在住する小学校区を聞く項目もあると良い。17ページは災害についてになる。問51では避難所での困りごと、心配な点を聞くということになると思う。18ページは災害に備えた取り組みへの希望という点や要支援者名簿の確認。次の虐待については表現が難しい。差別などについてはぜひ入れてほしい。親御さんがサービスを知っているか、確認をするという役割がある。59ページはサービス利用の困りごと、32ページで全体としての困りごとを聞くこととしている。

委員：医療的ケア児も増えている。合理的配慮の点で、外国籍の人が増え、翻訳、通訳の視点があるといいと思う。難しいやりとりには通訳がいた方が良い。

委員長：問28中に言語を入れると良いと思う。

委員：28ページで成年後見制度利用支援事業に関する項目がいきなり出てきている。唐突な印象を受けるが、どうか。

事務局：制度の認知という点では設問として問題ないと思うが、利用状況とすると違和感があるので、検討する。

委員：成年後見制度は今センターを設置して推進している。載せていても悪いことではないと思う。

委員長：19ページの権利擁護に関する項目で成年後見制度を親御さんが知っているかどうかについて聞いてみるのもよいと思う。その上での利用支援なので、設問としてあってもよいと思う。

(午後3時45分終了)